

各高等学校長 様

埼玉県高等学校軽音楽連盟会長 山崎 正義
(埼玉県立浦和第一女子高等学校長)

第14回埼玉県高等学校軽音楽新人大会の開催について(依頼)

残暑の候、貴校におかれましては益々御清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃から軽音楽系部活動の振興及び当連盟の活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の大会について、下記のとおり開催します。各学校におかれましては、部活動の成果発表の場としての本大会の目的を御理解いただき、貴校軽音楽系部活動生徒並びに関係職員の派遣について、格別の御配慮を賜りたくお願い申し上げます。

記

- 1 日程 令和8年11月22日(日) 予選ライブ
各予選会場
令和8年12月20日(日) 決勝ライブ
専門学校ESPエンタテインメント東京 本館 地下ホール
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-19
- 2 参加申込み 提出締切 令和8年11月2日(月) 必着 PDF形式にして電子メールで送付
実施要項に従い参加費の納入やエントリー等の手続きを期限内に完了するよう
ご協力をお願いします。
※エントリー用紙①～③の原本は大会終了まで大切に保管してください。
(提出及び問い合わせ等は、下記の事務局へお願いします)
※メールでの提出の他に、下記のフォームへのエントリー情報入力も併せてお願いします。

<https://forms.gle/NU2UnzV64NLkMSm28>



- 3 その他 大会日程に学校行事等が重なって出場できないグループに対する動画審査は、行わないこととします。ご理解の程お願いいたします。

埼玉県高等学校軽音楽連盟事務局
県立川口工業高等学校 佐藤大樹
〒333-0846 埼玉県川口市南前川1丁目10-1
TEL 048-251-3081 FAX 048-250-1252
E-mail sato.hiroki.53@spec.ed.jp
連盟HP <https://keionsaitama.com/>

第 14 回 埼玉県高等学校軽音楽新人大会 実施要項

- 1 目的：埼玉県高等学校における軽音楽系部活動に所属する生徒に発表の場を与えると共に、各校軽音楽系部活動の活性化を図る。
代替わりした各団体の今後の活動指針とする。
- 2 主催：埼玉県高等学校軽音楽連盟
- 3 日程及び会場：

期 日	行 事	会 場 他
11/2(月)	参加申込関係書類 大会参加費振り込み 〆切	県立川口工業高等学校 佐藤 大樹 宛 sato.hiroki.53@spec.ed.jp ※昨年度よりメールでの申し込みに変更
11/22(日)	予選ライブ	県立浦和高等学校 武蔵越生高等学校 県立浦和北高等学校 県立杉戸高等学校 県立草加東高等学校
12/20(日)	決勝ライブ	専門学校 ESP エンタテインメント東京 本館 地下ホール

4 大会出場資格：

- (1) 埼玉県高等学校内の軽音楽系部活動（同好会、愛好会等も含む）に所属。一人での参加も可。
- (2) グループ(以下「バンド」とする)内のすべてのメンバーが同一高校、同一部活動内に所属していること。(同じ高校内で複数の軽音楽系部活動がある場合に加え、同一キャンパス内の全日制、定時制、通信制に属する部活は各々、別団体と扱い、同時出場が可能である。ただし、双方の部活生徒が一緒に同じバンドを組むことはできない。
- (3) 高校入学後 2 年以内の生徒であること。ただし、埼玉県大会においてのみ定時制または通信制高校の生徒に限り入学後 3 年以内の生徒とする。
- (4) 予選ライブ、リハーサルも含め、集合から解散まで出場バンドメンバー全員が出席すること。
また 1 団体につき 1 人以上顧問教員(同一校の教員であれば代理可)が必ず引率すること。
- (5) 歌詞カードはESPエンタテインメント東京に提出する関係上、決勝進出バンドは予選後に別途所定の様式に入力し、データを連盟に提出する。

※本大会の決勝はESPエンタテインメント東京から会場・機材・スタッフの提供を受けている。「歌詞カード」と「連盟が予選の演奏を録画した動画」を使用する。これらは主に、ESPスタッフが照明プランのQueを作成するために使用される。予選時に審査員のアドバイスを受けて決勝でアレンジが変わった場合、このQueの位置がずれてしまうため、改めて動画を送る必要がある。そのような場合は事務局に報告すること。

なお、ここでの「アレンジが変わった」とは、主に各メロの長さの変更を指す。ギターがコード弾きからアルペジオに変わった場合、今回の変更には該当しない。(動画は12月6日(日)までに提出)

5 参加規程及び注意事項：

- (1) 1 団体 1 バンドとする。ただし、連盟加盟団体に限り、一方のバンドがオリジナル曲で参加の場合、2 バンド目の出場を認める。その場合の 2 バンド目の曲は、オリジナルでも既存曲でも自由とする。なお、同一人物の複数バンドへの掛け持ちは禁止とする。この場合のオリジナル曲とは参加バンドメンバーが作詞、作曲をしたものとする。
- (2) 1 バンドにつき 1 曲の演奏とする。オリジナル曲、既存曲を問わず歌詞カード&コンセプト記入用紙に歌詞・セリフも記入する。既存曲の場合も含めて内容が高校生として不適切と思われる場合、内容の修正を求めることがあるので、顧問が内容をよく吟味すること。また、歌詞以外のセリフがある場合も歌詞カードに記入すること。（「よろしくお願いします」等のバンドの自己紹介・挨拶程度のものは記入しなくてもよい）※歌詞カードにない不適切な言葉を発した場合、受賞対象外になる場合がある。（詳細は「11 細則」を参照）
- (3) シーケンサー等を使用しての打ち込み演奏は禁止とする。
- (4) 演奏時間は、1 バンド 5 分以内とする。演奏時間とは、司会者が「どうぞ」と声をかけてから、演奏を終了し、演奏者が「ありがとうございました」と結ぶまでの時間とする。
- (5) 演奏開始後の再演奏は認めない。ただし運営側に起因するトラブルが起きた際には、再演奏をする場合がある。
- (6) エントリー用紙提出以降の曲目及び歌詞の変更、メンバーの追加は一切認めない。予選ライブに限りやむを得ない場合のメンバー変更（欠員補充・減員）は認めるが、規定の期日までに事務局へ申し出ること。
[令和 8 年 11 月 20 日（金）16:00 まで]※事務局連絡先は末尾に記載あり
なお曲目の変更およびメンバーの追加があった場合、または上記の期日を超えてメンバー変更があった場合には演奏は可能であるが受賞対象外となる。
- (7) 決勝ライブにおいて、予選ライブからの曲目及び歌詞の変更、メンバーの追加および変更は体調不良の場合も含めて一切認めない。
- (8) 当日、会場までの行き帰り、会場内での服装は各参加校の服装規定に準ずる。また、ステージ上での衣装着用および楽器以外の道具の使用は認めない。演奏中の安全上の理由から室内履きをはくこと。なお会場校の服装規定などにより各参加校に整容面での配慮を要請する場合がある。
- (9) 応援、見学の生徒も含めて、高校生としてふさわしくない行為があった場合、その学校のバンドを失格とすることがある。また、該当する高校の次大会以降の出場を停止することがある。
- (10) 予選ライブの会場の振り分けは、地域性その他を考慮してコンテスト運営委員が決定する（1 校 2 バンドの場合同一会場に調整する）。
- (11) 天候不良や災害によって演奏による審査が不可能になった場合、各校にバンド演奏を録画した動画ファイルの提出を求めることがある（動画による映像審査にて上位大会進出バンドを決定する）。
- (12) 県新人大会グランプリ・準グランプリの 2 バンドは令和 9 年 3 月 20～22 日に愛知県 Lives NAGOYA で行われる第 5 回全国高等学校軽音楽発表会～軽音楽 SUMMIT 2027～に出場することになる。出場校は、全国発表会の参加の可否を所属校で確認した上で、冬季休業中に以下の手続きを行う。出場ができない場合次点のバンドを推薦する。 ア)『申込用紙』の記入。イ) 全国大会参加費¥10,000 の支払い

下記口座に納入してください。納入締切 令和 9 年 1 月 25 日（月）

振込口座 あいち銀行 高針支店 229 普通預金 2087896

東海・北陸高等学校軽音楽連絡協議会 事務局長 本多剛人

6 参加申込み手続き

(1) 参加費の納入：

連盟加盟校は1バンドにつき4,000円、非加盟校は6,000円を下記の郵便口座に納入する。その際、通信欄に学校名と部活名を記載すること。(決勝進出校は別途3,000円を決勝当日に追加徴収する。)

郵便振替口座 口座番号00180-8-441500
加入者名 埼玉県高等学校軽音楽連盟

(2) 必要書類と手続き：

ア. エントリー用紙①(第14回埼玉県高等学校軽音楽新人大会参加申込書)

(連盟加盟団体は1バンドにつき4000円、非加盟団体は1バンド6000円を振り込んだ納入証明・領収書の原本またはコピーを添付する)

※振込の際、通信欄に、振込金額の内訳を記入してください。(例：加盟費5000円、参加費4000円)

イ. エントリー用紙②(ステージセッティング記入用紙)

ウ. エントリー用紙③(歌詞カード&コンセプト用紙)

エ. 業務負担軽減のため、エントリー情報を下記のフォームより入力してください。

<https://forms.gle/NU2UnzV64NLkMSm28>

※上記ア～ウ(別添Excelファイル)を

「(4)提出先」に電子メールで送付(PDFにファイル形式を変更してください)

※エントリー用紙①～③の原本は大会終了まで大切に保管してください。



(3) 提出期限：令和8年11月2日(月)

(4) 提出先：(メールに添付) 埼玉県立川口工業高等学校 佐藤大樹
sato.hiroki.53@spec.ed.jp

7 予選ライブ

期日：令和8年11月22日(日) 9:30～17:00

場所：県立浦和高等学校
武蔵越生高等学校
県立浦和北高等学校
県立杉戸高等学校
県立草加東高等学校

※本番時間は入れ替えこみで1校あたり10分として計算。

※事前のリハーサルはなし。演奏直前に簡単な音出しをしてバランスチェックをする。

※出場バンド数により、時刻が予定と前後することがある。

- ① 審査員は原則3名とし、音楽系の企業や専門家、または教育関係者などに依頼する。
- ② 審査において「演奏技術」・「完成度」・「表現力」などを評価の観点とし、決勝進出バンドは審査員3名の協議によって選出される。
- ③ 各会場上位4～5バンドが決勝ライブに出場する。
(「第16回埼玉県高等学校軽音楽コンテスト」でグランプリを受賞したバンドが所属する学校が出場する予選会場は、決勝勝ち上がり枠が1つ増えるため、該当会場は上位5バンドが勝ち上がる)
- ④ 審査結果は連盟HPに公表する。
- ⑤ 参加バンドすべてへ審査員によるコメント用紙を渡す。

- ⑥ 決勝ライブに参加辞退があった場合、繰り上げで次点のバンドへの参加依頼をすることがある。
- ⑦ 予選ライブにおいて応援・見学はできない。(会場規模の関係上)
- ⑧ 当日、大会の模様を連盟の教員が、ビデオ撮影する。これは連盟公式の記録用であるとともに、ESP の照明担当に提出する。肖像権等の事情がある場合は、大会参加申込までに事務局に連絡するようにする。自校のバンドの演奏の撮影・録音は自由だが、他校のバンドの撮影・録音を行う場合は顧問に必ず許可を取ることを。

※その他、会場使用方法などについては、プログラムが決まり次第、後日該当校に要項が送られる。
予選ライブ会場ごとの指示に従うこと。

8 決勝ライブ 日程：令和 8 年 12 月 20 日(日) 11:00～18:00

場所：専門学校 ESP エンタテインメント東京 本館 地下ホール

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-3-19

※高田馬場駅周辺には ESP のキャンパスが複数あるので注意すること

※当日受付にて、決勝ライブ参加費として、1 バンドにつき 3,000 円を徴収する。

※本番時間は入れ替えこみで 1 校あたり 10 分。

※事前のリハーサルはなし。当日演奏前に簡単な音出しをし、バランスチェックをする。

※ホールのキャパシティーから一般公開はしない。出場 1 バンドにつき 5 名（出演者は含まない）、
まで観覧を認める。観覧者は部員・部員の保護者・学校関係者とする。

※決勝ライブの様子は録画し、YouTube で予選参加者・関係者へ限定配信する。(参加申込書を提出
した時点で承諾したものとみなす。)

- ① 審査員は 5 名とし、音楽系の企業や専門家、または教育関係者などに依頼する。
- ② 審査において「演奏技術」・「完成度」・「表現力」などを評価の観点とし、受賞バンドは審査員 5 名の協議によって選出される。
- ③ 審査の結果、上位入賞者に対してグランプリ(1 バンド)、準グランプリ(1 バンド)、奨励賞(4 バンド)を与える。
- ④ 審査結果は連盟 HP に公表する。
- ⑤ 参加バンドすべてへ審査員によるコメント用紙を渡す。

※その他の決勝ライブについての詳細な要項は予選ライブ以降、決勝大会出場校に配布する。

9 その他

(1) グランプリのバンドが所属する学校が第 17 回埼玉県高等学校軽音楽コンテストに出場する場合、その学校が出場する予選会場の決勝勝ち上がり枠が 1 つ増える。

(2) 引率顧問の先生方には、下記①～⑤のように大会運営に協力を依頼する。

※①受付 → 演奏生徒、応援生徒・顧問の受付・資料配布・注意事項の説明

②ステージ転換対応 → ステージの転換をスムーズに行うため、演奏生徒のセッティングの補佐

③生徒誘導 → チューニング室や舞台横への生徒誘導

④司会 → 大会当日における司会進行

⑤警備・誘導 → 会場内の鍵管理

(3) 本連盟によるホームページや冊子に個人が特定されない形で写真の掲載を承諾すること。

(参加申込書を提出した時点で承諾したものとみなす。)

(4) 追加連絡がある場合、連盟 HP <https://keionsaitama.com/> に随時アップロードするので確認すること。
また、末尾の事務局だけでなく、問い合わせ先に事務局長のメールアドレス sato.hiroki.53@spec.ed.jp も活用できる。

- (5)連盟役員が大会記録用にビデオ撮影をする。個人が撮影する場合、撮影を受ける高校の顧問が許可すれば自由だが、電源は各々準備する。ただし、画像・映像の管理には十分注意すること。
- (6)大会参加校生徒に大会運営について協力を要請することがある。

10 大会に持参しなければならないもの（運営側に準備がないもの）

- ・スネアドラム（ドラマー）
- ・シールドケーブル（5m以上推奨）※11 細則「機材についての注意」参照
 - ◎ギターからアンプに直接接続の場合 ⇒ 予選5 m以上、決勝7 m以上のケーブルを推奨
 - ◎エフェクター等を使用する場合 ⇒ 5 m以上(推奨)のケーブルを2本
- ・コメントシート（後日顧問にデータを送付するので印刷して持参）
- ・キーボード・ステージピアノ（電源、シールドケーブルも含む）
- ・シンバルスタンド（シンバルを追加する場合）
- ・ギター・ベース等の個人楽器
- ・上履き（予選ライブのみ）
- ・筆記用具
- ・昼食（大会中、外に買いに行くことはできない）

※キーボードスタンドについて、1台は連盟で用意あり。複数台を使用する際はスタンドも持参すること

※演奏時にクラッシュシンバル等を強めに連打するなど、会場校の機材に負担を掛けることが予想されるバンドは該当するシンバルも持参すること

1 1 細則

◎ライブの審査・評価について

- ・以下の場合は受賞対象外（演奏は可能）

(1) 期限を超えてのメンバー変更

※メンバーの減員についても「メンバー変更」と見なす。

※エントリーシート提出後のメンバー変更可能期間は以下の通り

メンバー変更の連絡は事務局に行うこと

メンバー変更に伴うパートの変更がある場合は、変更後のパートも事務局に伝える。

月	火	水	木	金	土	日
10/26	27	28	29	30	31	11/1
2 参加申込関係書類 提出期限 参加費納入期限	3	4	5	6	7	8
色付き部分はメンバー変更可能期間						
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20 16:00 まで	21	22 予選ライブ
23	11/24～	予選から決勝へのメンバー変更はできません				～12/20 決勝ライブ

(2) エントリーシート提出後の曲目変更

(3) 当日バンドメンバーが受付時間に遅刻、または欠席（体調不良、忌引きなどの理由も受賞対象外となる）

※ただし公共交通機関の大幅な遅延などの場合はこの限りではない

(4) 引率顧問がライブ当日の受付時間に遅刻、または欠席

※引率顧問については同一校の教員であれば代理可

(5) 演奏時間が5分を超える

※演奏時間とは、司会者が「どうぞ」と声をかけてから、演奏を終了し、演奏者が「ありがとうございました」と結ぶまでの時間とする。

(6) ステージに顧問やコーチ等が上がる（ステージ係はこの限りではない）

※出場校の顧問やメンバー以外の生徒がPAに直接要望を伝えることはできない。

リハーサル時、顧問は外音についてPA付近にいる連盟の教員（統括D）に要望を伝えることができる。

演奏上の不具合などが発生した場合はPA付近にいる連盟の教員（統括D）に相談すること。

(7) その他

歌詞カードにない発言について、「暴力的・性的・人権問題発言」など聴いている人を不快にさせてしまう発言については、役員協議の上受賞対象外となる。それ以外のものについては、役員協議の上、厳重注意及び会場参加者へ情報を共有して再発の防止に努める。

※ステージ上での危険・不適切な行為についても同様とする

◎ 演奏順について

- ・演奏順についてはエントリーシート提出後の役員会において連盟役員によるくじ引きで公平に決定する。

◎シーケンサー等の打ち込み・同期演奏の禁止について

- ・シーケンサーとは、ドラムのリズム・メロディ・コード進行等をあらかじめ入力・録音・設定しておき、それらを自動的に演奏させるために使用する機材である。それらの音源に合わせて歌唱やギター等の楽器の演奏を行うことを「打ち込み」または「同期演奏」等と言い、本連盟主催大会では禁止している演奏形態である。上記を含む、曲全体のテンポの基準になるようなリズムパターンの使用、メロディ、リフ、コーラスなどの事前の録音は一切禁止となる。外に音が出ていなくてもイヤホン等でクリック音等を聞くことも含まれる。
- ・ただし本番の演奏内で、フレーズをメンバー自らの演奏で録音し、それをその演奏時間内で任意に再生するといった「ルーパー」としての使用は可能である。
- ・なお、曲のリズムやテンポの保持に関わらない範囲での、効果音や音色の事前録音、機材への記録は「サンプラー」と定義し、本大会での使用を制限しない。(例)花火、セミの鳴き声、その他 SFX など

こうした機材は多岐に渡るため、不明な点や判断に迷うものは事前に事務局へ相談すること。

◎ 機材についての注意

- ・楽器、アンプ、PA 機材等は様々な学校、企業の協力により借用したものである。**故意、もしくは誤った使用により破損、故障をした場合には、当事者が弁償をすることになる**ので、細心の注意を払って使用をすること。

- ・アンプ類の破損防止のため、以下の手順で操作すること。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. シールドをつなぐ等、セッティングを終わらせてから、電源のスイッチを入れる準備をする。2. スイッチを入れる前に、ボリュームがゼロであることを確認する。3. その際、複数のスイッチがある場合は、スピーカーから遠い機材を先にして電源を付ける。4. ボリュームをあげて、音量を調整する。 |
|--|

- ・マイクを振り回したり息を強く吹きかけたり叩いたりしないこと。また、網の部分握ったり、口に斜めに向けたりすると、きちんと音が拾えなくなる。マイクをモニタースピーカーに向けるのは厳禁である。なぜなら、ハウリング(キーンという音)を起こす恐れがある。

- ・ドラムのセッティング(タムの位置やシンバルの高さ・角度など)を変えるときは、必ずネジを緩めてから動かすこと。無理に動かすと破損につながる。

- ・「スネア」は各校で持参すること。また、シンバルが割れないよう大切に扱うこと。

- ・ギターやベースからジャックが抜ける事故を防止するため、シールドケーブルをストラップに通すこと。

- ・持参する機材(ギター、ベース、キーボード、シールドケーブル、エフェクター等)は、前日までに接触不良等がないか、必ずチェックしておくこと。シールドケーブルの長さは以下を推奨する。

◎ギターからアンプに直接接続の場合 ⇒ 予選 5m以上、決勝 7m以上のケーブルを推奨

◎エフェクター等を使用する場合 ⇒ 5m以上(推奨)のケーブルを2本

また、エフェクターの電池は新品のものに交換しておく。スティックは複数本用意しておく。なお、ステージに持参した全てのものに必ず記名をすること。

・アコースティックギターはマイクで音を拾うこともできるが、音量に限界があるため、ピックアップの準備を勧める。

・キーボードはステージピアノも含めて連盟で用意しない（スタンドのみ準備あり）ので、各自持ち込み（ACアダプタ・シールドも持ち込み）となる。必要に応じてサスティンペダルまで用意すること。なお、原則として出力はフォンとする。

問い合わせ先 埼玉県高等学校軽音楽連盟

連盟 HP <https://keionsaitama.com/>

事務局長 佐藤 大樹

〒333-0846 埼玉県川口市南前川 1 丁目 10 - 1 埼玉県立川口工業高等学校

TEL. 048-251-3081 FAX. 048-250-1252 e-mail: sato.hiroki.53@st.spec.ed.jp

セッティング図の記入上の注意

- ・学校名、グループ名、曲名、グループメンバーのフリガナの記入を忘れないこと。
- ・Excelで入力もしくはボールペン等黒色のペンで記入すること。
- ・電話番号、FAX 番号、顧問緊急連絡先、職印を忘れないこと。
- ・作詞・作曲(カバーの場合は原曲演奏者)・演奏時間の記入を忘れないこと。
- ・メンバーが作詞作曲に関わったもののみがオリジナル曲である。先輩などが過去に作詞、作曲したものなど、提供曲は、公か否かに関わらず、コピー曲として扱う。
- ・エントリー用紙に書かれたグループメンバーから変更は認められない。
- ・ステージ構成表は記入例を参考に、マイクの本数と位置、使うアンプがわかるように記入すること。
- ・キーボードは連盟で用意しないので、スタンド以外は各自持ち込み（AC・アダプタ・シールドも持ち込み）となる。必要に応じてサスティンペダルまで用意すること。
- ~~・キーボードの位置を変えるなどの注文は事前に大会参加申込書の「特殊なセッティング」の欄に記入があらかじめないと、原則として認められないので、記入し忘れないこと。~~
- ・ドラムのセッティングは入れ替え上、重要な事項となる。左利きセットに該当する人、1タムの方は必ず記入すること。何も記入が無いときは、右利き2タムセットと判断する。
- ・その他、持ち込み機材、特殊セッティングがある場合はエントリー用紙に記入すること。